

< 資 料 >

「おokayama黒豚」種子豚の産肉能力成績

佐野 通・森 尚之・荒金知宏・松馬定子・奥田宏健

Results of Individual Performance in Young Breeding Pigs OKAYAMAKUROBUTA

Tooru SANÔ · Hisashi MORI · Tomohiro ARAKANE · Sadako MATUBA and Kouken OKUDA

要 約

岡山県総合畜産センターで飼養しているパークシャー種繁殖豚から生産され、平成15年度に農家に譲渡した繁殖用育成豚の1日平均増体量、背脂肪厚およびロース断面積の成績を雄雌別および種雄豚別に調査した。

- 1 1日平均増体量は、種子豚雄で 538.4 ± 38.4 gであり、雌は 497.9 ± 42.5 gであった。
- 2 背脂肪厚は、種子豚雄で 1.5 ± 0.3 cmであり、雌は 1.6 ± 0.3 cmであった。
- 3 ロース断面積は、種子豚雄で 26.8 ± 2.8 cm²であり、雌は 27.0 ± 2.9 cm²であった。

キーワード： 種子豚、一日平均増体量、背脂肪厚、ロース断面積

緒 言

当センターでは、優良な繁殖豚を飼養しながら、増殖および改良して、繁殖用育成豚（以下、種子豚）を養豚農家へ供給することにより養豚振興を図っている。そこで、パークシャー種繁殖豚から生産された種子豚の産肉能力を調査した。

材料及び方法

1 実施期間

平成15年4月2日から平成16年2月5日までに、体重が105kg程度に達した種子豚112頭（雄42頭、雌70頭）について調査し、平成12～14年度の成績と比較した。

2 調査項目および方法

調査項目および方法を表1に示す。なお、1日平均増体量（以下、DG）、背脂肪厚（以下、BF）およびロース断面積（以下、EM）は、（社）日本種豚登録協会豚産肉能力検定規定¹⁾に基づく補正定数により、体重105kg時の成績に換算した。

表1 調査項目および方法

項 目	方 法
D G	生後から体重105kg程度までの1日平均増体量
B F	FHK SSD-500SEMを使用し、画面上で計測 体重が105kg程度になった時に、体長の1/2部位で正中線から2～3cm離れた部位における真皮および表皮を含む背脂肪の厚さの左右の平均値
E M	FHK SSD-500SEMを使用し、画面上で計測 背脂肪厚測定時と同じ部位で、ロース断面積の左右の平均値

調査成績

1 年度別推移

DG、BFおよびEMの年度別推移は、表2および図1～図3のとおりであった。

表2 DG、BFおよびEMの年度別成績

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
雄	D G (g/日)	540.7 ± 41.4	546.7 ± 39.2	548.2 ± 55.9	538.4 ± 38.4
	B F (cm)	2.0 ± 0.4 ^a	1.6 ± 0.4 ^b	1.6 ± 0.3 ^b	1.5 ± 0.3 ^b
	E M (cm ²)	23.4 ± 2.3 ^a	23.9 ± 3.0 ^a	24.9 ± 3.3	26.8 ± 2.8 ^b
雌	D G (g/日)	493.8 ± 39.9 ^a	544.2 ± 37.2 ^b	501.9 ± 39.4 ^a	497.9 ± 42.5 ^a
	B F (cm)	1.9 ± 0.3	1.7 ± 0.4	1.6 ± 0.4	1.6 ± 0.3
	E M (cm ²)	24.7 ± 2.2 ^a	25.6 ± 2.8	27.3 ± 3.9 ^b	27.0 ± 2.9 ^b

* 平均値 ± 標準偏差
横列の異符号間に有意差あり (p < 0.05)

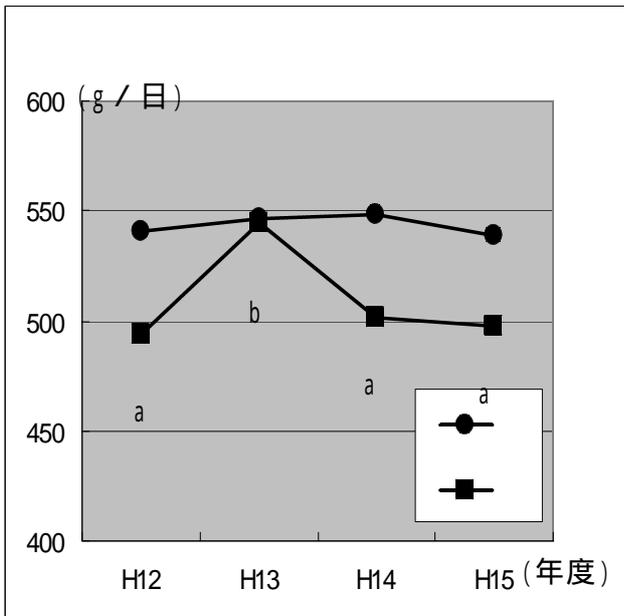


図1 DGの年度別推移
注) 異符号間に有意差あり (p < 0.05)

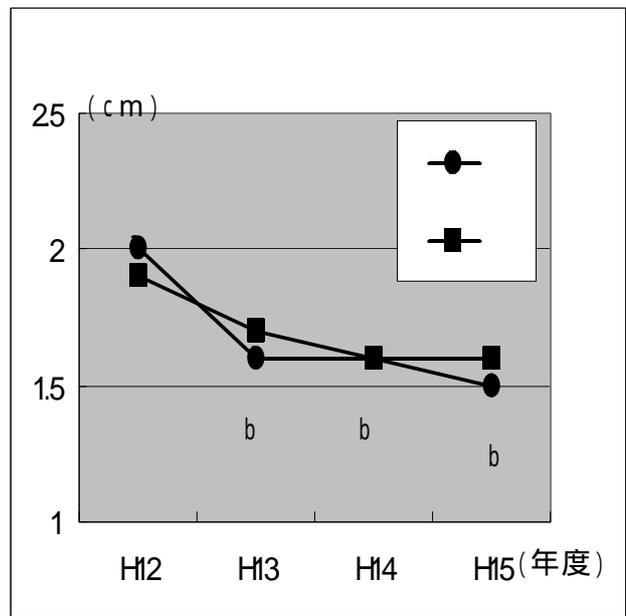


図2 BFの年度別推移
注) 異符号間に有意差あり (p < 0.05)

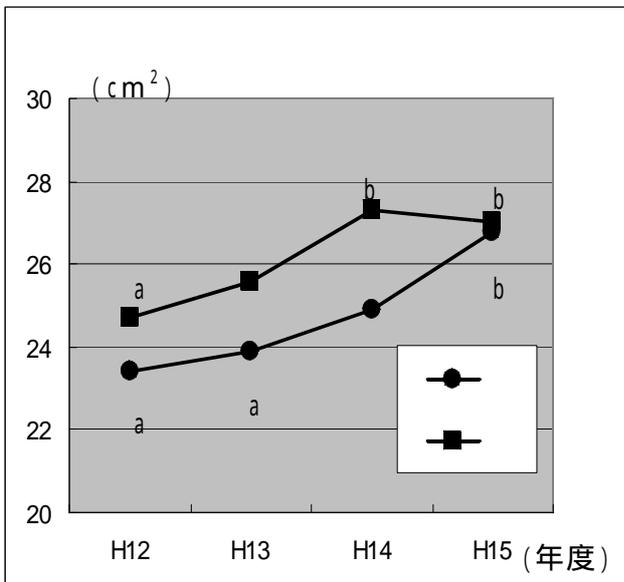


図3 EMの年度別推移
注) 異符号間に有意差あり (p < 0.05)

2 種雄豚別による種子豚の産肉成績

種雄豚別による種子豚の産肉成績 (平成12年4月～平成16年3月繋用) は表3のとおりであった。

表3 種雄豚別による種子豚の産肉成績

略号	種雄豚		n	D G (g/日)	B F (cm)	E M (cm ²)
	種豚登録番号	性別				
B 18	12335		1	467.6	1.1	28.5
B206	12055		3	522.4 ± 19.7	1.5 ± 0.2	27.6 ± 2.5
B287	12056		2	532.1 ± 7.5	1.4 ± 0.2	27.4 ± 0.8
B386	12198		3	559.3 ± 64.3	1.4 ± 0.1	27.8 ± 2.7
B248(2)	11525		10	552.3 ± 28.6	1.5 ± 0.3	25.4 ± 3.0
B 97	11495		3	553.2 ± 56.6	1.8 ± 0.2	27.6 ± 1.2
B029	11863		15	534.0 ± 35.9	1.5 ± 0.2	26.0 ± 3.2
B461	11626		6	548.7 ± 21.7	1.3 ± 0.2	27.3 ± 2.3
B504	11341		10	539.7 ± 53.5	1.7 ± 0.3	23.2 ± 2.7
B025	11864		5	552.1 ± 19.1	1.7 ± 0.1	24.8 ± 3.0
B1599	11220		12	492.5 ± 25.5	1.9 ± 0.4	23.5 ± 2.8
B357	11848		4	567.6 ± 54.3	1.6 ± 0.5	23.1 ± 1.6
B338	11625		24	572.8 ± 41.8	1.4 ± 0.3	26.4 ± 3.5
B201	11221		1	477.8	1.6	24.6
B 8	不明		1	477.0	2.0	25.6
B 57	不明		3	582.4 ± 42.6	1.8 ± 0.2	24.9 ± 1.3
B 1	不明		2	504.0 ± 20.4	2.3 ± 0.1	23.8 ± 2.4
B 15	不明		3	515.5 ± 7.3	2.4 ± 0.1	21.6 ± 2.4
B 20	不明		1	601.1	2.1	24.0
B 5	不明		3	521.8 ± 23.2	1.5 ± 0.4	25.1 ± 2.2
B 31	不明		6	555.6 ± 50.9	2.1 ± 0.4	24.0 ± 2.0
B 50	不明		6	539.8 ± 24.9	2.0 ± 0.2	21.5 ± 2.1
平均			124	543.1 ± 44.0	1.7 ± 0.4	25.1 ± 3.1
B 18	12335		4	502.6 ± 45.8	1.6 ± 0.0	26.5 ± 2.6
B206	12055		15	508.1 ± 40.6	1.6 ± 0.3	27.1 ± 3.4
B242	12336		1	507.2	1.9	23.9
B287	12056		2	502.3 ± 23.1	1.4 ± 0.1	26.9 ± 1.9
B386	12198		11	490.5 ± 26.3	1.7 ± 0.3	26.7 ± 3.2
B248(2)	11525		11	520.3 ± 32.4	1.6 ± 0.3	26.4 ± 4.8
B 97	11495		14	542.2 ± 41.6	1.6 ± 0.3	25.0 ± 2.5
B029	11863		25	504.0 ± 39.3	1.4 ± 0.2	28.0 ± 2.9
B461	11626		9	514.5 ± 29.8	1.6 ± 0.1	26.6 ± 2.8
B504	11341		14	487.7 ± 44.6	1.9 ± 0.3	24.8 ± 2.0
B025	11864		23	502.7 ± 31.1	1.6 ± 0.3	27.8 ± 2.2
B1599	11220		12	460.8 ± 21.4	2.1 ± 0.4	24.8 ± 2.6
B357	11848		7	476.7 ± 54.8	2.3 ± 0.3	22.7 ± 2.5
B338	11625		27	541.0 ± 42.7	1.4 ± 0.2	29.5 ± 3.3
B201	11221		3	490.8 ± 20.1	1.8 ± 0.1	27.6 ± 3.3
B101	11966		1	406.5	1.6	30.0
B 8	不明		2	482.5 ± 36.8	2.0 ± 0.1	27.1 ± 1.5
B 57	不明		2	570.2 ± 5.4	1.9 ± 0.2	26.4 ± 3.4
B 9	不明		3	507.0 ± 40.8	2.3 ± 0.1	25.0 ± 3.4
B 15	不明		7	473.7 ± 35.5	2.0 ± 0.2	23.6 ± 1.6
B 20	不明		5	489.7 ± 44.7	2.0 ± 0.2	25.5 ± 2.3
B 5	不明		4	484.5 ± 40.2	1.6 ± 0.2	25.0 ± 1.4
B 31	不明		5	511.3 ± 41.5	1.9 ± 0.1	24.3 ± 1.7
B 3	不明		3	479.5 ± 11.7	1.5 ± 0.1	24.6 ± 0.5
B 50	不明		2	485.1 ± 26.5	2.0 ± 0.2	22.1 ± 4.3
平均			212	505.3 ± 43.1	1.7 ± 0.3	26.6 ± 3.3

* 平均値 ± 標準偏差

考 察

「おかやま黒豚」原種豚を改良するため、D G、B FおよびE Mを中心に次世代を選抜している。その結果、平成15年度の成績は、平成12年度と比較してD Gは差がないものの、いずれの性別でも、B Fは薄くなり、E Mは大きくなっており、改良の進展が伺われる。

引用文献

- 1) (社)日本種豚登録協会編(2001)：登録関係諸規定 平成13年4月(第4版), 59-82.